



理事長2026年新年のご挨拶

新春のお慶びを申し上げます



オリエンタルランド健康保険組合
理事長 櫻井 孝

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から当健康保険組合の事業運営にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

昨年も東京ディズニーリゾートでは、東京ディズニーシーの新テーマポート「ファンタジースプリングス」や両パークのスペシャルイベントなどが好評を博し、多くのゲストをお迎えすることができました。

あらためて、東京ディズニーリゾートは全てのキャストによる組織の壁を超えたOne Teamの精神によって成り立っているのだと実感し、また、ゲストのみなさまに最高のハピネスを提供するためにはなによりキャスト自身の心身の健康が大切であるということを再認識した一年となりました。

さて、先ごろ厚生労働省から発表されたリリースによると2024年度の医療費は過去最高の48兆円に達する見込みとなっています。医療の高度化に加え、少子高齢化が進行し、団塊の世代がすべて後期高齢者となっている現状を踏まえれば、今後も医療費の増加は避けられず、高齢者の医療費を支援している健康保険組合としても、その負担はさらに重くなることが想定されます。

また、2026年度からは新たに「子ども・子育て支援金制度」がスタートいたします。具体的な制度設計は事業主体である国から説明がなされるものと想定していますが、この支援金はこども未来戦略を充実させる特定財源として、すべての国民によって支えることになっています。各健保はこの支援金を国にかわって代理徴収することが命じられており、次年度からは健康保険料に上乘せする形で徴収され、被保険者の皆さまにとっては新たなご負担となります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

このように健康保険組合を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いていますが、当健保といたしましては、今年も被保険者のみなさまはもちろんのこと、ご家族みなさまの健康と安心も守り続けてまいりたいと考えています。

加入者のみなさまにおかれましては、今年も引き続き健康にご留意いただき、オリエンタルランド健康保険組合が実施する施策等も積極的に活用していただきながら、健やかな一年をお過ごしいただければと存じます。